

第13回議会報告会
Nakashibetsu議会
ミルク Café



令和5年7月30日（日）

- ①午後1時00分～ しるべっと コミュニティホール
- ②午後7時00分～ 交流センター 大集会室

中標津町議会

次 第

1. 開 会 の 辞

2. 主 催 者 挨 拶 中標津町議会 議長 後 藤 一 男

第1部

3. 議員自己紹介 ミルク Café参加議員一覧参照----- P2

4. ミルク Café (ワールドカフェ方式)

5. 休 憩

第2部

6. 進 行 説 明 議会運営委員会委員長 高 橋 善 貞

7. 議会改革について 議会改革特別委員会委員長 江 口 智 子

8. 質 疑

9. 閉 会 の 挨 拶 中標津町議会 副議長 鈴 木 克 弘

10. 閉 会 の 辞

以下、本報告会では報告いたしません、後ほどお目通しください。

11. 委員会活動報告

総務文教常任委員会 ----- P3～6

厚生常任委員会 ----- P7～10

産業建設常任委員会 ----- P11～14

12. その他

議会概要 ----- P15～17

一般質問分析表 ----- P18～19

議員所属一覧表 ----- P20

ミルクCafé参加議員一覧

No.	氏名	期数	現所属	No.	氏名	期数	現所属
1	ひらやま ひろみ 平山 光生	1期	 ○厚生 広報 改革	10	ちば きよまさ 千葉 清正	2期	 厚生
2	あんどう みか 安藤 美佳	1期	 産業建設	11	くろかわ しずお 黒川 静夫	2期	 産業建設
3	あべ たかひろ 阿部 隆弘	1期	 厚生 ◎広報	12	さの やなみ 佐野 弥奈美	4期	 産業建設 改革
4	やまぐち たけひこ 山口 雄彦	1期	 ○産業建設	13	すずき かつひろ 鈴木 克弘	4期	 副議長
5	さくま ふみこ 佐久間ふみ子	1期	 ○総務文教	14	ごとう かずお 後藤 一男	5期	 議長
6	まつの みやこ 松野 美哉子	1期	 総務文教 ○広報	15	さとう たけし 佐藤 武志	5期	 総務文教 ○議運
7	むねかた かずき 宗形 一輝	2期	 ◎産業建設 議運 広報 改革	16	よしだ かんいち 吉田 貫一	5期	 厚生 監査
8	えぐち ともこ 江口 智子	2期	 ◎総務文教 議運 ◎改革	17	くまら しげき 熊倉 重樹	6期	 総務文教
9	たかはし よしさだ 高橋 善貞	2期	 産業建設 ◎議運 改革	18	まつむら やすひろ 松村 康弘	8期	 ◎厚生 議運 ○改革

◎委員長 ○副委員長 ※議席番号順

総務部

1. ふるさと応援制度推進事業について

- (1) 令和4年11月、中標津地方卸売市場を運営する「中標津地方魚菜株式会社」へ訪問し、ふるさと納税返礼品事業者としての現状と今後についてお話を伺った後、最先端の技術で、魚を加工する工程等も見学しました。

中標津地方魚菜株式会社様からは、「添加物を使用せず、安心安全な食べ物にこだわっている。そういった面からしっかり返礼品のPRをしてほしい」などの要望を受けました。



視察の様子

- (2) 令和4年12月末現在の寄付件数は6469件、寄付金額は1億876万円で前年度比102%となっています。返礼品の分野別申込件数は、牛乳・乳製品が一番多く、次いで精肉・食肉・加工品、魚介類などです。主な寄付先は関東が3422件で全体の52.7%になっています。
- (3) 令和4年12月定例会で、議会初となる委員会代表質問を行い、以下の3点について質しました。

- ・ふるさと納税のPR強化のため、中間事業者の見直しを図るべきではないか。
- ・ふるさと納税専任の地域おこし協力隊を設置すべきではないか。
- ・令和5年度の目標とする寄附額は。

このうち中間事業者と地域おこし協力隊については、令和5年度予算に盛り込まれ、ふるさと納税のPR強化と返礼品開拓、返礼品事業者のフォロー等に入力することが決定しました。

また、目標寄附額は当初2億円との答弁でしたが、令和5年度予算では3億円となっていたことから予算審査特別委員会にて説明を求め、「令和4年度にふるさと応援係を創設し、本年は中間事業者を含めた返礼品事業体制の見直しや、新たにふるさと納税を担当する地域おこし協力隊を採用し推進体制を強化する予定であることから、本年を転換期と位置づけ新商品開発や事業者と連携を図り寄附額の向上を目指す」との答弁を得ました。

2. 防災について

令和5年1月、防災について切れ目のない調査を実施するため、総務文教常任委員会・厚生常任委員会合同で、所管部局の協力のもと合同で常任委員会を開催しました。

以下のことについて協議しました。

- ①災害時要援護者の支援体制づくりについて

- ②避難行動要支援者名簿の作成について
- ③要支援者の個別避難計画の作成について
- ④災害時要援護者台帳(避難行動要支援者名簿)を活用した個別避難計画作成に向けて

(1) 根室管内5市町防災基本協定について

平成25年8月23日、「根室市・別海町・中標津町・標津町・羅臼町」の5市町が平常時及び災害時、防災に関して相互に協力し、災害対策の強化並びに災害発生時の迅速な応急活動を実施して被害の軽減と被災者の救護を図り、提携市町民の福祉の増進に資することを目的とした協定内容について説明を受けました。



厚生常任委員会と合同で開催

災害時に道路が寸断された場合のヘリコプターの活用については、北海道と消防防災ヘリコプターの応援協定自体は、消防本部を設置している市町、組合などで協定を締結しています。空港を所有している本町として、ヘリコプター等の配置の要望を国・北海道へ継続して行っている状況です。

(2) 防災リーダーについて

中標津町地域防災リーダー(地域における自主防災活動の中核となる人物)は、町独自で組織し、町民の防災意識の向上・防災知識の習得を促進することで、各地域における防災啓発活動を活性化させることで、自主防災組織等の拡大と充実を図ります。

災害時に、効果的かつ実践的な防災活動ができるよう活動の基盤づくりを行うことで、地域の防災力を向上させ災害に強いまちづくりを推進します。その活動の役割、認定制度、防災セミナーの開催経過等の説明を受けました。

コロナ禍により令和2年度以降、防災リーダーのフォローアップ研修等が実施できていない現状ですが、今後新規の加入、既存の方のフォローアップを進めていきたいと考えています。

3. 町税について

令和4年度の町税決算見込み額35億1274万9千円であるのに対し、コロナ禍や物価上昇、酪農家の生乳生産抑制などにより、令和5年の町税をどのように見込んでいるのか説明を求め、個人町民税と固定資産税において増加が見込まれるとの報告を受けました。

個人町民税は、営業・農業所得の減少が見込まれる一方、人材確保の賃上げ傾向が見られ全体として増加の見込み、固定資産税はコロナの特例措置終了により土地の評価額の増加が見込まれ、法人町民税は原材料や燃料高騰の影響が長期化し、減少が見込まれるとのことです。

4. 北方領土対策について

令和4年度北方四島交流事業である2023「北方領土の日」根室管内住民大会は、第2部(弁論発表・アトラクション)は昨年に引き続き中止とし、第1部の式典部分のみ有観客で令和5年2月7日に開催されました。

また「北方領土の日」特別啓発期間の取り組みとして、なかしべつ冬まつりでの署名活動、パネル展、クイズ大会等が総合文化会館において実施されました。

「北方領土プロジェクト“N”」と題して、運動を引き継ぐ後継者を育成していくため、高校生に焦点をあてた取り組みを推進し、高校生Nサミットとして根室管内の高校生が若者の目線で新たな啓発資材を提供する取り組みが行われています。

5. 地方公務員の定年の引き上げについて

少子高齢化が進む中、能力・意欲のある高齢期職員の経験を生かすこと、及び60歳以降の多様な働き方に対応するため、令和3年に国家公務員の定年が引き上げとなったことから、地方公務員についても同様の措置が講じられます。

令和5年4月から令和14年にかけて、2年に1歳ずつ65歳まで段階的な引き上げとなる予定です。

6. 中標津町80年史(仮称)発刊事業について

令和7年7月に開町80年を迎えることを記念して、平成6年の50年史発行後、30年の町勢の出来事を回顧・記録し令和7年度に発刊を予定しています。

7. 人材育成活動推進補助事業について(フロンティア事業推進事業)

活力あるまちづくりの推進を図ることを目的に、各分野における人材の育成及び町民が新たに取り組む事業など、自主的な活動に要する経費に対して補助を行います。

また、今年度より人材育成に関する事業のうち、特に協働のまちづくりの推進に関するもの等の補助率・補助上限額を拡充するとともに、町内会の活性化・担い手育成に関するものを補助メニューに加え補助率を高くしています。

8. 人口減少対策調査研究事業

第2期中標津町総合戦略で掲げる特化対策として(①女性の社会参加の促進 ②若い世代の結婚支援 ③高等教育機関の誘致・充実)に基づき、急速に進展する人口減少・少子高齢化への対策を立案・実施します。(アンケート調査、若者の出会いの場創出、町出身大学生等への雇用情報の発信等)

教育委員会

1. Jアラート(全国瞬時警報システム)の対応について

令和4年10月4日、北海道を対象にJアラートが発信されたことを受け、翌5日に教育長よりJアラートが発信された際の対応について、町立小中学校の安全管理等の周知徹底を行ったとの報告を受けました。

2. タブレット端末の持ち帰りについて

GIGAスクール構想で、児童生徒に1台ずつ貸与されているタブレット端末について、令和4年2学期より保護者からの同意書の提出を受けて、必要に応じた持ち帰りが実施されました。今後、家庭学習で端末活用の定着化を図ることが報告されました。

デジタル教科書の本格導入については、昨年から町内小中学校の英語の教科書で実証中です。今年は更に1教科追加予定で2024年には英語が本格導入され、次いで算数と数学が導入予定です。

3. 中標津町育英資金貸付事業について

令和4年度から町の人口減対策として、要件を満たせば返済不要となる「定住促進貸付金」が創設されたことと、既存の「修学資金」「入学一時金」と合わせて運用状況について説明を受けました。

学校種別	高 校	高等専門学校	専修学校・短大・大学
修学資金	年額 240,000 円以内(月額 20,000 円以内)		
選考基準	学業成績・所属家計の所得額・作文		
貸付期間	正規の最短修業期間		
償還方法	町内に5年以上定住及び地元就職した場合は、定住促進貸付金全額の免除		
	卒業後、5年以上定住及び地元就職しなかった場合は、貸付期間終了後1年間を据え置き、10年間の範囲内で償還		

4. スポーツ大会等開催助成事業について

本町で開催される各種スポーツ大会を通じて交流人口の拡大を図るものとして、本年度は、第46回東日本軟式野球大会北・北海道大会、第43回道新カップ北海道小学生バレーボール大会道東大会、第10回北海道シニアエイトサッカーツアーオープン大会などを予定しています。

また、330°開陽台マラソン大会については、これまで町・文化スポーツ振興財団・実行委員会では実施していましたが、経費面や400～500名に及ぶ運営スタッフの確保が難しいことなどから検討を重ねた結果、開催を終了することとなりました。

現在、町と文化スポーツ振興財団で、マラソンに代わる持続可能な健康増進の機会作りを検討中です。

町民生活部

1. 合葬墓について

高齢化社会の影響もあり、区画墓地・寺院の納骨堂を購入できない境遇にある一部の町民（特に高齢者）の方々は遺骨を自宅保管している状況にあり、中標津町に住んで、中標津町の発展に御尽力いただいた故人への感謝と、哀悼の気持ちを大切にすべきと協議を重ねてきた合葬墓が令和6年度運用開始予定となっています。

○令和4年度 地質調査 263 千円・実施設計（直営）～別海町の合葬墓を参考

○令和5年度 場 所：中標津墓地内（無縁仏の北側）

埋葬数：2000 体程度

使用条件や使用料の決定（現在検討中）

○令和6年度 受入開始予定

2. 地域公共交通に係る各協議会の進捗状況について

（1）中標津町地域公共交通活性化協議会

「地域公共交通の活性化及び再生法に関する法律」の改正に伴い、交通計画に位置付けられていないバス路線は、国の補助対応外となるため、新たに法定協議会を組織し、「中標津町地域公共交通計画（案）」（令和5年3月）が策定されました。

運用開始後も柔軟な改訂が必要となってくることから、逐次法定協議会の協議経過を委員会へ報告するよう要請しました。

また、標津～西春別間は、現段階でも農高通学生の帰りの便は、学校行事等で一斉下校になる際、1便しかない広域バス路線に乗り切ることができないため支障が出ています。より良い通学環境を創出できるように臨時運行の依頼を含めて検討を要請しました。

なお、自動運転車両の導入についても、委員会にて視察検討していきます。

【活性化協議会の経過】

令和4年度 中標津町地域公共交通活性化協議会を設置

協議会の開催（4月、5月、7月、8月、9月、12月、2月）

アンケート調査・乗降調査等を実施

令和5年度 協議会の開催（4月）

中標津町地域公共交通計画策定、パブリックコメント実施等

（2）標津線代替輸送連絡調整協議会

JR標津線が廃止となり、国のバス転換交付金を活用すべく1市4町で協議会が設立されており、標津標茶線、中標津線の2路線の見直しをするため約30年ぶりに協議会が開催されました。

今後は現協議会の発展的解散、車両関係の整理等、新協議会にて協議を進めます。

「JR 標津線代替バス路線の在り方について」

標津～西春別間を令和 5 年 10 月からダイヤをスケールダウン

西春別～標茶間を令和 7 年 3 月に廃止

中標津～別海間を令和 5 年 10 月から中標津空港線と重複しない運行に再編

別海～厚床間を令和 5 年 9 月に廃止

3. 各種団体との懇談会について

【社会福祉法人中標津町社会福祉協議会との懇談会】

事業内容、成年後見制度を主に説明を受け、自主財源確保の課題や成年後見制度の相談内容における対応の問題や課題等について意見交換を行いました。

社会福祉協議会は「地域福祉実践計画」のもとに地域住民の福祉、介護、教育、就労、住まい、生活等様々な課題の解決に向け、行政と共に継続した支援を行っていけるように「法人後見」をはじめ、集いの場である「ともぞう倶楽部」等色々な事業に取り組んでいました。

当委員会では今後も懇談を継続し、町民の課題解決に繋がる取り組みをしていきます。

【中標津町全町内会連合会との懇談会】

連合会の概要説明（現状・課題）や町内会加入率向上の取り組みについて説明を受け、加入率低下の課題である回覧板や会費等集金時の負担を改善するためにデジタル化の導入検討や、防災組織、学校との連携方法、全町内会連合会の権限、ごみステーション、要支援者台帳と地域支援員の問題、自治基本条例改正などについて意見交換しました。

なお、町内会加入率向上の取り組みについては、令和 4 年 12 月に町内会員証が作成され、「町内会員割引制度」をスタートされました。現在 29 社の協賛を受け今後も協賛店拡充を予定していて、引き続き周知を図っていくとのことでした。

当委員会では、町内会加入率向上の取り組みや全町連役員に委嘱される町の委員会等の役員の負担軽減について調査のうえ協議をしていきたいと思えます。

【公益社団法人中標津町シルバー人材センターとの懇談会】

30 周年を迎えるシルバー人材センターの概要説明（現状・課題）を受けました。設立当初からの変革や会員数の減少、稼働会員 40 名という現状、また会員募集の実情や事業活動とは異なるボランティア活動の重要性、さらに会員の高齢化問題など意見交換を行いました。

当委員会では現状を受け止め、高齢者福祉の推進に繋がるよう調査をしていきます。

町立中標津病院

1. 管理運営について

令和2年度からのコロナ禍において、着実に病院経営は改善の兆しが見えてきました。職員の皆様が「病院経営改革」に真摯に取り組んできた成果です。

令和3年度（R3.4.1～R4.3.31）以降診療収入が増額となり、新型コロナウイルス対策に係る国庫支出金、道補助金の補填、多様な交付金事業により町単独費の持ち出しは減少し、令和4年度には一時借入金をせずに決算を迎えることができました。

しかし、新型コロナウイルスが第5類相当に扱われることとなったため、コロナ病床確保に伴う交付金が半減、9月には廃止となるうえに、単価上昇、材料費の高騰などの影響があります。

今後も、購入価格の交渉や委託料の見直し、経営支援機構などコンサルとも協議し、引き続き経費削減、さらなる経営改善に取り組んでいただきたい。

令和3年度収益的収入・支出決算額の内訳

(千円)

	区分	決算額	計	収支	消費税処理後の純利益
収入	入院収益	1,538,677	4,694,575	307,941	303,866
	外来収益	1,326,229			
	一般会計繰入金	989,010			
	その他	840,659			
支出	給与費	2,296,557	4,386,634		
	材料費	689,631			
	経費	1,039,817			
	減価償却費	193,655			
	支払利息	48,076			
	その他	118,898			

令和3年度は、病院の総収入で総費用が賄えなかったことから、5億円を町内金融機関より一時借入し決算を迎えておりましたが、5月31日に全額返済しました。

収支は3億794万1千円、表の消費税処理後の純利益3億386万6千円となり、

平成11年度の病院移転後23年目で初めて純利益を計上しました。

2. 町立病院経営強化プロジェクト「110床プロジェクト」について

公立病院は「公共性」と「経済性」の二面性を持っていて、それを理解して経営にあた

ることが重要であり、町民・行政・議会がこの二面性を十分理解しなければ病院の経営改善は進みません。

コンサルと共に、一時借入金の解消と内部留保資金（現金）の確保を目指し、120床の病床に対して110床/日の入院患者を目指すプロジェクトを展開し、現在は120床中120人が入院しているという成果報告を受けています。

これも自治体病院では珍しい、診療科ごとの目標を設定、検証を重ねてきた結果です。

満床時でも緊急時の入院に支障はないということなので、引き続き目標達成に向けプロジェクトの継続をしていただきたいと思います。

根室北部廃棄物処理広域連合

1. 過去5年間の中標津町負担金等の状況について

広域連合運営の状況が町民にわかりづらく、別海町のごみ焼却場施設の大改修を検討する時期にきていますが、中標津町のごみ搬入量は、依然として別海町の約2倍となっていて、4町で負担しているごみの処分費用の約半分を中標津町が負担しているのが実情です。

ごみ受入量推移

	H30 (t)		H31 (t)		R2 (t)		R3 (t)		R4 (t)	
	総受入量	割合 (%)	総受入量	割合 (%)	総受入量	割合 (%)	総受入量	割合 (%)	総受入量	割合 (%)
別 海	3,080	26.06	3,141	26.56	3,010	25.32	2,969	25.32	2,972	25.79
中 標 津	6,622	56.04	6,595	55.76	6,648	55.93	6,750	57.27	6,509	57.07
標 津	1,232	10.42	1,202	10.16	1,285	10.81	1,163	9.86	1,140	9.99
羅 臼	884	7.48	890	7.52	944	7.94	904	7.94	815	7.15

根室北衛生組合

1. 今後の見通しについて

根室北部衛生組合では、し尿処理施設の老朽化に伴い、令和4年10月中標津町下水道施設へのし尿投入の方向性について、構成3町の合意となりました。

今年度は、し尿受入施設基本計画を策定し（事業費：1471万5千円）、令和12年度に移行開始を目指し、住民説明等に着手していくということです。

委員会として、将来的に持続可能な廃棄物処理を検討していく必要があります。

建設水道部

1. 除雪事業について

令和4年度の除雪体制について次のとおり説明を受けました。

(1) 除雪路線数と延長

- ・車道は626路線で、延長は550.5 km。
- ・歩道は87路線で、延長は82.2 km。

(2) 除排雪出動基準

- ・10 cm以上の降雪量や吹き溜まりなど道路交通に支障が生じる状況、またはそれらが予想されるとき。

(3) その他の路面整生や排雪

- ・道路交通に支障が生じる圧雪やワダチ状、道幅が狭くなった場合に路面整生や拡幅作業を実施。
- ・雪堤が概ね150 cm以上となった場合で道路交通に支障が生じるときに排雪を実施。

2. 建設工事の発注・進捗状況について

令和4年7月28日現在の、令和3年度（継続費分）と令和4年度の工事発注状況などの説明を受けました。

令和3年度継続費分の建設工事発注状況は、発注計画2件、金額で3878万6千円に対し、計画、金額とも100%でした。令和4年度については発注計画158件、金額39億2953万2千円のところ、発注済み112件、金額36億4770万円との報告でした。

3. 中標津町空家等対策計画について

少子高齢化や過疎化の進行によって全国規模で空家問題が深刻化しており、その中でも適切に管理が行われていない空家等が増加し続け、防災・衛生・景観など地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしています。

本町では令和元年度に空家実態調査を行い、結果として空家率は2%と、全国の空家率13.6%を大きく下回る結果となりましたが、将来人口や年齢構成を考慮すると、今後の住宅供給量が世帯数を上回り空家は増加することが予想されています。

町民・地域・団体・事業者・行政が連携し、本町の実情に合った施策を総合的かつ確実に実施できるよう、中標津町空家等対策計画を策定し、実行に移していくための「中標津町空家等対策計画（案）」がまとまったことから、その説明を受けました。

具体的な空家等の対策として、次の施策を展開するとの案が示されました。

① 空家等の発生抑制

- ・空家等の調査、良質な既存住宅の形成、空家化の予防に向けた意識啓発

② 空家等の流通、利活用の促進

- ・空家等適正管理の促進、空家等利活用の促進

③ 特定空家等への対応

- ・管理不全な空家等への対応、準特定空家等の登録及び措置
- ・特定空家等の認定及び措置

4. 町営住宅について

中標津町公営住宅等長寿命化計画策定について 平成 29 年度に令和 9 年度までの計画期間として位置づけされているこの計画を、急速な社会情勢の変化や第 7 期中標津町総合計画等、各種関連計画が見直しされたことから、新たな計画期間を令和 5 年度から 14 年度とする改訂計画を策定するとの報告を受けました。

計画策定は「中標津町公営住宅等長寿命化計画策定委員会」と町長とで協議・報告され、また町営住宅運営委員会への諮問が行われ北海道との調整を経て策定されます。

5. 広陵中学校仮設校舎視察

広陵中学校の校舎改修工事の間に使用する仮設校舎が完成し、引っ越しが終わったばかりの仮設校舎の視察を行いました。

仮設校舎は令和 4 年 8 月から令和 6 年 1 月まで使用されます。その間の生徒の登下校時の通路や体育館使用時の通路、車両通行路の確認を行い、その後校舎内を視察しました。



視察の様子

6. 都市計画の変更について

北海道と協議を行い、さらに令和 4 年 8 月 30 日開催予定の中標津町都市計画審議会における本審査の案件について説明を受けました。

その後、北海道との協議を終え、同様の内容で都市計画審議会では審査を受けるとの報告がありました。

都市計画変更に伴う用途地区の変更に必要な条例改正については、令和 4 年 9 月定例会で議決されました。

7. 緑ヶ丘森林公園キャンプ場について

(1) 基本計画策定の整備コンセプト

『広域からの集客を増やし、町民にも愛される施設整備』、顧客ターゲットについては『道東圏のファミリー層とバイク利用者』。

ハード面は車路・駐車場の新設整備やオートキャンプサイトやフリーキャンプサイ

トの新設整備。ソフト面はホームページの更新、ネット予約システムの導入、パンフレットの作成や利用ルールの明文化などの説明を受けました。

(2) キャンプ場利用実績(5月)

令和3年度68人、令和4年度144人。



緑ヶ丘森林公園キャンプ場

経済部

1. 農業振興について

(1) 作況状況について(令和4年度分)

農作物生育状況等と生乳生産状況、町営牧場の出牧状況について、次のとおり報告がありました。

- ・牧草、サイレージ用トウモロコシ、デントコーン ～ 平年並み
- ・馬鈴薯、大根、ブロッコリー ～ 平年並み
- ・テンサイ ～ 順調。11月下旬収穫作業終了予定。
- ・生乳生産 ～ 対前年比104%(生乳生産抑制のため1.1%減)
- ・町営牧場出牧 ～ 作業終了。161日間で農家26戸より、延べ13万2205頭受け入れ。1日平均821頭。

(2) エゾシカ対策について

令和4年5月～10月までに実施されたエゾシカ有害駆除の実績報告がありました。令和4年度のエゾシカ有害駆除は1000頭を計画しており、ほぼ計画どおりの935頭を駆除しました。

活用方法としては食肉用0頭、ペットフード用915頭、活用不可20頭でした。

2. 家畜ふん尿汚水流出事故の経過報告について

令和3年11月15日の家畜ふん尿流出事故以後、中標津町農協や根室振興局、標津漁協などの関係機関と対策や再発防止などの協議を続けてきており、令和4年7月に行った今後の対応協議の結果と、ふん尿汚水が流失した牧場内の対策工事完了の報告を受けました。

3. 学校法人岩谷学園について

(1) 岩谷学園ひがし北海道日本語学校について

令和4年4月11日、中標津経済センターにおいてオンラインによる入学式が挙行されました。昨年度入学の学生も新型コロナウイルスの影響で入国できず、オンラインでリモート授業を実施していました。5月8日には待望の留学生が来町し、その後も順調に留学生の入国が進み、昨年度入学の6名と本年度入学の4名と、現在在籍学生10名で授

業がスタートしています。

(2) (仮称)岩谷学園ひがし北海道 I T 専門学校

地域未来 I T テクノロジー科(地元産業への人材供給に寄与する農業 I T コース、商業観光 I T コース) 1 学年 60 名、2 年制(合計 120 名)、令和 6 年 4 月開校を目指して検討を進めています。場所は町有地(東 7 条南 9 丁目～東 9 条南 10 丁目)を想定しています。

また、令和 4 年 5 月 21 日、岩谷学園専門学校に関する住民説明会が開催され、町内外から 112 名の参加がありました。

4. 空港利用促進について

(1) 令和 4 年度搭乗者数、運行状況

中標津空港利用状況(東京線)搭乗者数は、令和 3 年度 2 万 4322 人に対して、令和 4 年度は 5 万 4762 人、前年比 225.15%、3 万 440 人の増。搭乗率は令和 3 年度 33.39%に対して、令和 4 年度は 45.41%、12.02%の増となりました。

コロナ禍の外出自粛等の影響により、空港利用状況は中標津空港のみならず、全国的にも落ち込んでいましたが、現在 8 割程度まで回復しています。

5. 各種団体との懇談会について

産業建設常任委員会では、各種団体との懇談を行っています。

現在、中標津町商工会様、中標津町農業協同組合様、計根別農業協同組合様の 3 団体と懇談させていただきました。大変有意義であり貴重なお時間でした。

これからも 3 か月に 1 回程度、各種団体の皆様と懇談会を予定しています。



中標津町商工会様



中標津町農業協同組合様



計根別農業協同組合様

議会の概要

(令和5年4月1日現在)

1. 議員

(1) 議員数

条例定数 18人 (平成17年3月制定)

現員数 18人

(※17.3.17 条例定数24名から18名に改正)

(2) 任期

令和2年9月3日から令和6年9月2日

(3) 所属党派別議員数

区分	無所属	立憲民主党	公明党	合計
男	11	1		12
女	4		2	6

(4) 年齢別議員数

区分	25～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上	合計	平均 年齢	最年長	最年少
男		1			4	6	1	12	65	82	35
女			2	1	3			6			

(5) 在職年数別議員数

区分	4年未満	4年以上 8年未満	8年以上 12年未満	12年以上 16年未満	16年以上
男	2	4		1	5
女	4	1		1	

2. 議 会 活 動

(1) 本会議開催状況（令和4年）

会 議 名	会 期	会議日数	一般質問	
3月定例会	3月 7日～ 3月17日 11日間	3日	5人	5件
6月定例会	6月13日～ 6月17日 5日間	2日	6人	9件
9月定例会	9月12日～ 9月16日 5日間	2日	9人	9件
12月定例会	12月12日～12月16日 5日間	2日	9人	9件
定例会計	26日間	9日	29人	32件
第1回臨時会	1月28日 1日間	1日		
第2回臨時会	4月28日 1日間	1日		
第3回臨時会	7月19日 1日間	1日		
第4回臨時会	8月10日 1日間	1日		
第5回臨時会	10月17日 1日間	1日		
第6回臨時会	11月21日 1日間	1日		
臨時会計	6日間	6日		
本会議計	32日間	15日	29人	32件

(2) 委員会等開催状況（令和4年）

委 員 会 名	委員数	開催日数
総務文教常任委員会	6名	18日
厚生常任委員会	6名	18日
産業建設常任委員会	6名	22日
議会運営委員会	7名	21日
議会広報特別委員会	5名	13日
議会改革特別委員会	7名	13日
決算審査特別委員会	16名	12日
予算審査特別委員会	全議員	3日
全員協議会	全議員	12日
合 計		132日

(2)会議開催日数・付議事件等(令和4年1月1日～令和4年12月31日)

区 分	提 出 者 ・ 種 別						提出者・議決結果別						請 願		一 般 問				
	会 議 日 数		町 長 提 出				議 員 提 出				町 長 提 出						議 員 提 出		
							本 会 議	委 員 会 ・ 会 期 中	委 員 会 ・ 閉 会 中	計			条 例	意 見 書	決 議	規 則 其 他	計	原 案 可 決	そ の 他
	人 数	件 数																	
定 例 会	3月	3	7	24	34	11	17		2			1	3	57	2	1	3	5	5
	6月	2	4	18	24		2		3				1	17	12	4		6	9
	9月	2	8	31	41	5	5	9	2				2	24	11	2		9	9
	12月	2	5	29	36	2	9		1			2	3	12	12	2		9	9
	小 計	9	24	102	135	18	33	9	8			4	12	110	90	20	10	29	32
	第1回（1月）	1			1		1							1	1				
臨 時 会	第2回（4月）	1			1	4	1					1	1	5	1		1		
	第3回（7月）	1			1		2					1	1	6					
	第4回（8月）	1			1							8	8	1	1	8			
	第5回（10月）	1			1		1					3	3	2	2	2	1		
	第6回（11月）	1			1	2								2					
	小 計	6			6	6	5					13	13	17	3	9		12	2
合 計	15	24	102	141	24	38	9	8			17	25	107	20	127	13	11	29	32

令和4年6月から令和5年3月までの一般質問に関する分析集計表

No.1

質 問 標 題	答 弁 者			答 弁 の 分 類				
	町長	教育長	代監他	実行する	実行に向け 研究する	可能性を 検討する	折をみて 検討する	実行しない
令和4年6月								
1 人口減に抗するための女性の包括支援について	○				○			
2 (1) 18歳成人消費者教育について		○			○			
(2) なかしべつ330° 開陽台マラソン大会について		○				○		
3 (1) コロナ対応地方創生臨時交付金の使途と町民公募について	○				○			
(2) 交付金の使途に対する提案について	○							○
(3) 審議会等の会議録を図書館において公開する事について	○					○		
4 北方四島医療支援事業の予算削除について	○							○
5 教育用タブレット端末の利用について		○		○				
6 子ども食堂の支援について	○			○				
令和4年9月								
1 保育料の無償化について	○					○		
2 AI(人工知能)の導入による業務の効率化と職員の人員不足を補う行政サービス向上の取組について	○				○			
3 標津川堤防強化と西5条中標津橋の着工について	○				○			
4 開陽台再整備の方針について	○				○			
5 介護人材の確保について	○			○				
6 コロナ後遺症の周知と支援について	○				○			
7 地域公共交通のデマンド化について	○					○		
8 シルバースポーツセンターの指定避難所について	○			○				
9 小児科の外来予約について	○							○
令和4年12月								
1 交流人口の拡大について	○				○			
2 町民の交通支援について	○				○			
3 郷土館における山田洋次監督のブース開設の準備について		○						○
4 要援護者台帳の提供と個人情報保護法について	○			○				
5 学校給食費の未納問題について		○			○			
6 特定外来生物アライグマの防除・駆除について	○				○			
7 耐震シェルター等の補助制度導入について	○					○		
8 ゲートキーパー育成について	○					○		
9 男性用トイレへのサニタリーボックス配備について	○			○				

令和4年6月から令和5年3月までの一般質問に関する分析集計表

No.2

質 問 標 題	答 弁 者			答 弁 の 分 類				
	町長	教育長	代監他	実行する	実行に向け 研究する	可能性を 検討する	折をみて 検討する	実行しない
令和5年3月								
1 町職員の人員不足解消に向けた取り組みについて	○					○		
2 (1) 山田洋次監督の記念館開設に向けて	○							○
(2) 開陽台育成牧場会計年度任用職員の通年雇用について	○						○	
(3) オール電化公住の暖房費について	○							○
3 民生委員児童委員への活動支援について	○			○				
4 動物愛護の取り組みについて	○				○			
5 認知症用のヘルプマーク製作について	○				○			
6 女性の総合窓口設置について	○			○				
合 計 (35件／4定例会)	8	0		2	2	1	1	2

中標津町議会議員委員会等所属一覧表

議員任期：令和2年9月3日～令和6年9月2日

委員任期：令和4年9月3日～令和6年9月2日

(令和5年4月1日現在)

議 長：後 藤 一 男				副議長：鈴 木 克 弘			
総務文教常任委員会		厚生常任委員会		産業建設常任委員会		議会運営委員会	
委員長	江 口 智 子	委員長	松 村 康 弘	委員長	宗 形 一 輝	委員長	高 橋 善 貞
副委員長	佐久間 心み子	副委員長	平 山 光 生	副委員長	山 口 雄 彦	副委員長	佐 藤 武 志
委 員	松 野 美哉子	委 員	阿 部 隆 弘	委 員	安 藤 美 佳	委 員	宗 形 一 輝
委 員	佐 藤 武 志	委 員	千 葉 清 正	委 員	高 橋 善 貞	委 員	江 口 智 子
委 員	熊 倉 重 樹	委 員	鈴 木 克 弘	委 員	黒 川 静 夫	委 員	鈴 木 克 弘
(議長)	(後 藤 一 男)	委 員	吉 田 貴 一	委 員	佐 野 弥奈美	委 員	松 村 康 弘
						(議長)	(後 藤 一 男)
議会広報特別委員会		議会改革特別委員会 【令和2年10月6日設置】					
委員長	阿 部 隆 弘	委員長	江 口 智 子				
副委員長	松 野 美哉子	副委員長	松 村 康 弘				
委 員	平 山 光 生	委 員	平 山 光 生				
委 員	宗 形 一 輝	委 員	宗 形 一 輝				
委 員	鈴 木 克 弘	委 員	高 橋 善 貞				
		委 員	佐 野 弥奈美				
		委 員	鈴 木 克 弘				
根室北部衛生組合 議会議員		根室北部消防事務組合 議会議員		中標津町外2町葬斎組合 議会議員		根室北部廃棄物処理広域連合 議会議員	
阿 部 隆 弘		佐久間 心み子		佐 野 弥奈美		平 山 光 生	
吉 田 貴 一 (監査)		江 口 智 子		佐 藤 武 志		松 村 康 弘	
鈴 木 克 弘		鈴 木 克 弘		鈴 木 克 弘		鈴 木 克 弘	
後 藤 一 男		後 藤 一 男		後 藤 一 男		後 藤 一 男	
中標津町監査委員		中標津地域森林・林業・ 林産業活性化議員連盟		議 員 会			
吉 田 貴 一		会 長	高 橋 善 貞	会 長	熊 倉 重 樹		
		副 会 長	千 葉 清 正	副 会 長	安 藤 美 佳		
		事務局長	阿 部 隆 弘	幹 事	山 口 雄 彦		
		幹 事	佐久間 心み子	幹 事	松 野 美哉子		
		幹 事	松 野 美哉子	幹 事	黒 川 静 夫		
		監 事	佐 藤 武 志	監 事	千 葉 清 正		